

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議（第32回）開催結果概要

1 日時

平成26年5月28日（水）16:00～17:50

2 場所

PCB処理情報センター（室蘭市御崎町1丁目9番地8）

3 出席者

監視円卓会議委員、登別市、伊達市、環境省、日本環境安全事業株式会社（JESCO）事務局（北海道、室蘭市）

傍聴者：8名 報道：2社（室蘭民報社、北海道新聞社）

4 内容

- (1) 第31回監視円卓会議議事録について
- (2) PCB廃棄物処理基本計画の変更について
- (3) 北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について
- (4) その他

5 議事概要

- (1) 第31回監視円卓会議議事録について

監視円卓会議として承認。

- (2) PCB廃棄物処理基本計画の変更について

- ① PCB廃棄物処理基本計画の変更に係る検討要請に対する環境大臣への回答について
室蘭市及び道から4月25日の環境大臣への回答等について資料2-1に基づき説明。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・室蘭市及び道の検討経過、受入条件等の概要を説明・環境大臣から受入条件を承諾した旨の回答を受け、受諾を決定した旨、説明 |
|--|

- ② PCB廃棄物処理基本計画の変更について

環境省から資料2-2に基づき、PCB廃棄物処理基本計画の変更（案）の概要を説明。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・PCB廃棄物の処理体制の変更、処理期間の延長について説明。・今後の主な取組として、JESCOによる処理のほか、未届事業者の把握など、早期の処理完了に向けた促進策、微量PCB汚染廃電気機器等の処理などについて説明。 |
|--|

主な質疑等は以下のとおり

(委員)

- ・未把握となっているPCB廃棄物をいつまでに把握するか、今後どのように見つけていくのかということが明らかにされていない。目標を明確にすべき。
- ・北海道事業の処理期限が一番遅くなっているが、他の事業所で期限までに終了しなかったものが、北海道に集中してしまうのではないか。

(委員長)

処理期間が定められたが、具体的なロードマップが示されていないので不安になる。具体的になったときに、円卓会議にもお示しいただきたい。

(環境省)

現在未把握となっているものについては、経済産業省も含めた協議会を今後立ち上げ、整理してお示ししたい。

(委員) 他事業所の監視委員会との交流は非常に大切だと思う。以前実施していた交流事業を復活させてもらいたい。

(3) 北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について

① 北海道事業の進捗状況等について

JESCOから資料3-1～3-6に基づき説明。

- ・トランス類、コンデンサ類の処理は平成26年4月末現在で、それぞれ70.9%、64.6%。
- ・前回の監視円卓会議以降のトラブル事象は3件あり、その概要と対策等について説明。
- ・平成25年度のヒヤリハット活動状況、内部技術評価結果について説明。

主な質疑等は以下のとおり。

(委員長) トラブル事象については、一つ一つ個別に対応するのではなく、内部技術評価できちんと整理し、他の事業所も含めJESCO全体でしっかりと対応していただきたい。

(委員) いざというときに非常用発電機が動かないということがあるが、起動管理はどのように行っているか。

(JESCO) 年1回の法定点検のほか、自主的に月1回点検を実施し、所内で報告しており、これまで問題はなかった。

② 環境モニタリング測定結果等について

事務局から資料3-7、3-8に基づき説明。

- ・環境基準値や排出管理目標値等を超える項目はなかった。
- ・前回の監視円卓会議で指摘されていた、ダイオキシン類が冬期間上昇することについて環境科学研究センターの担当者に見解を確認。室蘭地域は冬期間風が強い日が多いことから、舞い上がる土壌の影響が考えられるほか、寒冷時に燃料消費量が増加することなどが原因として考えられる。
- ・前回円卓会議以降、3回の立入検査を実施。いずれもトラブルを受けて実施しており、再発防止策等について指導。

主な質疑等は以下のとおり。

(委員) 祝津地区のPCB濃度がわずかではあるが、他の地域に比べて高くなっているが、その理由について検討していただきたい。